

平成 18 年度の演奏会

～夭折の音楽家、貴志康一没後 70 年によせて～

貴志康一の没後 70 年となる平成 18 年度は、国の重要文化財にも指定されており、歴史的建築物として高い評価を受けている大阪府中央公会堂を舞台にコンサートを開催しました。おなじみの貴志作品の他、本邦初演となる弦楽四重奏曲や、貴志康一と同じ没後 70 年のガーシュウィンなどの曲が演奏されました。

とき 平成 19 年 3 月 17 日 (土)

ところ 大阪府中央公会堂

出演者 ヴァイオリン／井上隆平

ピアノ／小山るみ

弦楽四重奏／音登夢カルテット

(ヴァイオリン／木村直子、宮下和子

ヴィオラ／法橋泰子 チェロ／木村政雄)



第 1 部 貴志康一の音楽

演奏曲	作曲家	演奏者	備考
竹取物語	貴志康一	井上隆平	
スペイン女	貴志康一	井上隆平	
船頭唄	貴志康一	小山るみ	歌曲を編曲
八重桜	貴志康一	小山るみ	歌曲を編曲
かもめ	貴志康一	小山るみ	歌曲を編曲
弦楽四重奏曲 二長調	貴志康一	小山るみ	初演

第 2 部 時代を超えた音楽～バッハからガーシュウィンを経て現代へ

演奏曲	作曲家	演奏者	備考
無伴奏パルティータ第 3 番 ホ長調 BWV1006	J.S.バッハ	井上隆平	
蝶々	グリーグ	小山るみ	
春に寄す	グリーグ	小山るみ	
子守唄	ガーシュウィン	音登夢カルテット	
弦楽四重奏曲第 1 番 ハ長調 作品 49	シュスタコヴィチ	音登夢カルテット	
タイスの瞑想曲	ジュール・マスネ	全員	アンコール